

ジェントル通信



[発行者]

株式会社ジェントルワーク 〒579-8056 東大阪市若草町7-9 TEL: 072-974-5010

[発行日]

2024年1月1日 Vol.32



明けましておめでとうございます。

今年もよろしくお願いします。

去年の12月号から手書きの通信から変更しています。名残惜しい声もたくさんいただいておりますが、引き続き愛読いただけると嬉しいです。 今年も少しでも地域の笑顔と安全を守れるように精一杯頑張ります。





1年間の目標を立てて心を入れ替える きっかけとなるのが1月

連の記事で記事で記事がお正式 し&日 ま飲みを に事や広告がら、 当が、気染め 忘 のす Þ もぎれ らだ 一年で そ 毎 て、 の て ご 存 知 一 年 で 一 番 多 の て ご 存 知 の て ご 存 知 年体 の重アい 例ッ食 知多の プベ ²です) は住宅関 かいの の話を (笑しる) でい話 て ぎ

とちたがと昔 思の時有あか 鏡そ年 餅ば末・ い親 ŋ 5 ま世いい まった お始 代はだけに め雑恒 がる 縄煮例 ع る実そ統 お言せえ の家のが 大変 で、 ちば ょさんど 帰省し いろい? ほい 料年 理越

族様い離全 ŧ に よに すが仕年う あ自 (笑) ないので、(記事とも) なので、(記事とも) なので、 いにのし よ少挨まして より がましど /願っ をが物行 願 Ĺ 足け 氏りる て悪 おい家神な距 でにをきは僕 す。
、近くで
、近くで
なった
なった 十始の族 な年 に日はおは 行戎近寺 もく で毎 れ年 近の除年 ま始 く神夜恒 たい っの社の例 か 戎 鐘で か で が ぉ



安いものには気をつけろの巻

最近携帯を触っていると、いろいろな画面に 広告が出てきます。気になる商品が出てくると ついつい買ってしまうことありませんか?

僕は基本的には現物を見て買いたいタイプなんですが、年に何度かネットショッピングで衣類や日用品などを買っています。日用品や事務用品なら大丈夫ですが、やっぱり衣類となると失敗が多いです(笑)

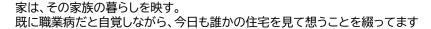
先日、寒くなってきたのでネットでジャンバーを探していると、広告に某アウトドア用品のダウンジャケットが10分の1の値段で売られているではありませんか!ミーハーな僕はテンションが上がり、当然偽物だろうけど『ロゴマークだけでも入っていたらいいかぁ』と少し期待しながら購入ボタンをクリック!

偽物と分かりながらも到着を楽しみに待っていると、届いたのはダウンジャケットではなくペラペラのジャンバーで、ロゴマークもどこにもない。maid in chinaとだけラベルがついていた。

この事を妻に話すと『そんなん、あかんに決まってるやん。よく見やんと買うからそんなことになんねん!』と日頃のうっぷんを晴らすかのように注意されました(笑)

皆さんは、僕みたいなバカな失敗はないと思いますが(笑) ...ネットで気に入ったものがあっても極端に安い、銀行決済等、怪しい商品には手は出さないように。やっぱり自分の目で見て、肌で感じ、信用できるものを買うべきだと反省しました。

失敗は成功のもとです(笑)





今月のお宅

今月の僕が記事に取り上げた一軒は...

子供の頃、僕がうらやましかった家。

3階建ての家。30坪弱坪くらいで、おそらく築年数30年ほど。1階が駐車場になっていて居住スペースが2階・3階というタイプ。1階に浴室トイレがあり、2階がリビングと洋間1部屋、3階に3つの寝室があるといった間取り。

当時は3階建の友達の家に遊びに行くのが楽しみだった。兄弟それぞれの個室が3階にあり、子供たちの隠れ家的なワクワク感があった。それにリビングとは離れていて、保たれたプライバシーがちゃんとあって、親の目を気にせずにゲームし放題(笑)

30年の時が経ち... 今は建築オタクとして、当時羨ましかった家を見てる自分が不思議で懐かしさを感じていました。

その家は、白い外壁に窓からの雨だれで黒い汚れがあり、よく見ると所々にひび割れがある。きっと一度も外壁のメンテナンス(塗装)をされていないんだというのがわかる。

外壁のメンテナンスをしていなければ、ベランダの防水工事まで手を入れていないだろうと心配になります。外壁・ベランダ防水は、理想で言えば10年ごとのメンテナンスが必要。30年放っておいたら雨が降るたび小さな隙間から漏水が起こって、壁の中にまで水が侵入している懸念があり、壁の中の柱が腐り始めてる可能性も気になった。屋根も陶器瓦ではなかったので、30年経つと交換が必要な時期を迎える。

築30年、購入した時の年齢が30代だとすれば、今そこに住む人は60代ということになる。

子供たちは僕の同世代だから、自分と重ねてしまう。既に独立されて離れた地域で暮らし、時々孫を連れて帰ってくるのを楽しみに待っているんだろうなぁ~と勝手な想像を膨らましてしまう(笑)

30年前の建物は、いい断熱材もなく隙間が多いので冬は寒いだろう。使わなくなった3階は当時の状態のまま収納スペースになっているかもしれない。

そこに住む人が60代だったら...後10年経ったら、階段の上り下りが辛くなるだろうな。寝室が3階なら尚の事。駐車場に入る車も無くなれば、せめて1階と2階だけで生活したいだろうなぁ~ …そんなことを回想していました。

時が経つと、住む人の年齢や人数、生活環境が変化したり健康面も変化していく。

家だって同じ様に変化していかないと住みづらいものになっていきます。みなさんがもっと家に愛情を持てるようになればいいな...と今月も徒然に書いてみました

今月のつぶやきが、誰かの未来の参考になったらうれしいです。